

知らなきや損する

# 住宅ローン金利が下がるかも 日銀のマイナス金利導入で

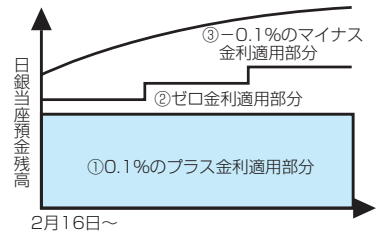
日本銀行は1月29日、金融政策決定会合(日本銀行で物価や通貨の安定のための政策について話し合い政策を決定する会合のこと)で、2%の物価目標をできるだけ早く実現するために、「マイナス金利」の導入を決めました。

銀行が日銀に預ける預金を「日銀当座預金」といいます。マイナス金利が導入になるのは、銀行が日銀に預ける日銀当座預金の金利で、銀行の預金金利に影響はあるでしょうが、今のところ預金金利がマイナスになる話ではありません。またマイナス金利に便乗した詐欺の電話などがあるかもしれません。注意してください。

今回、日銀が導入するマイナス金利の仕組みですが、日銀当座預金の金利を「プラス金利」「ゼロ金利」「マイナス金利」と3段階に分けるというものです。①日銀がこれまで量的・質的金融緩和のもとで、銀行が日銀に預けていた残高(2015年の平均残高部分)はこれまで通りでプラス0.1%の金利。②銀行が、預金保護のためや経済成長のため銀行の貸し出しを増やすためなどの目的で日銀当座預金に預けているものはゼロ金利。今後タイミングを見てゼロ金利部分を増やしていく。③2月16日以降新たに預ける日銀当座預金で①と②を上回る分は、マイナス0.1%の金利とするという仕組みです。

また、銀行がマイナス金利を逃れるために、保有する現金を大きく増やした場合は、ゼロ金利部分から差し引いてマイナス金利部分にすることです。

銀行は、預金で集めたお金を運用していますが、超低金利で運用難に陥っています。日銀に預ければこれまで0.1%の利息が得られたのが、2月16日から新たに預ける分からは、マイナス



0.1%と損することになるわけです。私たちが預けた預金は、今後どこへ行くのでしょうか。日銀や政府は、銀行が融資や投資などを増やし、為替が金利差で円安、それによって企業の収益や賃金が改善し、景気が回復し物価が上昇することを期待しています。

では、日銀のマイナス金利導入で、私たちの家計にどのような影響があるのでしょうか。金利が低下することでローン金利も低下するなら、これから住宅ローンを利用する人にはメリットが期待できます。既に住宅ローンを利用している人は、借り換えなど検討してみると良いでしょう。一方で、短期の国債や社債などで運用している投資信託でMMFなどが販売停止になったり、預金金利はさらに低下することになるでしょう。

ところで2月13日は、「NISA(ニーサ)の日」です。NISAとは、少額投資非課税制度で、今年から1年間の投資金額の枠が100万円から120万円と拡大されました。日本の金利がさらに低下するなら、ますます正しい投資の知識が必要になるかもしれません。



暮らしのマネープラン相談センター 所長  
サードファイナンスアドバイザー 高橋 昌子

いしかわ暮らしのマネープラン

## あなたの暮らしと財産を守るパートナー

- **時間相談** …… 1時間まで3000円 2時間まで5000円  
教育資金・老後資金・相続・住宅ローン・保険の見直しや商品選択、確定拠出年金など何でも相談できます
- **マイホーム資金・住宅ローン相談** …………… 3万円  
無理のない予算額、頭金や購入時期、最適な住宅ローン・生命保険・火災保険など、マイホーム購入にまつわるマネープランについて何でも、マイホーム購入まで時間を気にせず相談できます
- **退職資金・マネープラン相談** …………… 3万円  
退職後の手続き、年金や保険、退職資金計画など退職後の生活設計について何でも、時間を気にせず相談できます

